

感染症による苦しい日々が長く続いておりますが、この状況は私たち音楽家にとっても非常に厳しい現実でありました。

ただ私個人と致しましては、自分自身や音楽と向き合う時間が与えられ、様々なことに追われる日常では気がつくことのできなかったことが多くあったように感じております。

私は今年度3月をもって東京藝術大学を卒業いたしますが、今のところ進学や就職の予定はなく、フリーランスの演奏家として活動していきたいと思っております。

学生の身分ではないプロの演奏家としての第一歩として、沢山の方のご支援によりリサイタルをさせていただくこととなりました。

今回共演をするピアノの安野さんは、大学の同期生でソリストとしても伴奏者としても数多くの優秀な経歴を持つピアニストであり、私が大学2年生の時より試験などの本番で何度も伴奏をお願いしてきた信頼する共演者で、大切な友人でもあります。

また、今回の会場である豊洲シビックセンターホールは舞台の後ろが窓ガラスになっており、豊洲の景色が見渡せるとも素敵な会場で、このホールでリサイタルをしたいという長年の願いが叶い、心から幸せに思っております。そして私がホールにこだわる理由がもう一つ、それは先日のショパンコンクールでも話題となった、FAZIOLIのピアノです。日本でこのピアノが常備されているホールはとても珍しいのですが、初めてこのホールでピアノと共演した時音色のキラキラとした輝きに魅了されました。今回はぜひこの会場も含め皆様に楽しんで頂きたいです。

信頼するピアニストと美しい音色のピアノと共に音楽を作り上げられることが今から本当に楽しみで仕方なく思っております。

いつも応援してくださる方々への感謝を込めて未熟者ながら精一杯演奏したいと思っておりますので、年末のお忙しい時期かとは思いますが、ご都合がよろしければ足をお運びいただければ本当に幸いです。

ご来場お待ちしております。

森澤麻里江